

フロイント産業株式会社

株主通信

2022年2月期 **中間**

(2021年3月1日～2021年8月31日)

株主の皆様へ

期中予定の上海FCセンターの開設を控え、グローバル5極体制の構築が進む2022年2月期(以下「当期」)。当中間期は、グループ価値観『ONE FREUND』のもと、様々な事業現場で社員主導の新たな活動が始まりました。

代表取締役社長

伏島 巖



当中間期の事業活動レビュー

機械部門

医薬品分野

感染力の強い新型コロナウイルス変異株の影響が世界的に拡大するなか、日本市場では、医療費抑制策の強化など、引き続き厳しい事業環境にありましたが、完全顧客視点に立った営業を推進した結果、製薬メーカーの設備投資需要を取り込むことができ、予想通りの業績を確保しました。

コロナ禍の影響をより強く受けた海外市場では、一部案件に出荷の遅れがあり、予想対比で業績が未達となりました。地域別では、前期は好調だった中国ですが、当中間期は、引き合いは強いものの、発注を先延ばしにする傾向にあり、伸び悩みました。一方で、設備投資需要が積み上がっていたブラジルの復調が顕著でした。伊コスメックは、新興国を主要市場とするため、コロナ禍の影響を受けましたが、年度末に向けての復調を見込んでいます。

非医薬品分野

前期はコロナ禍の影響を大きく受けましたが、当中間期は化学業界、電池業界をはじめ、受注が好調で、予想を上回る業績となりました。

化成品部門

医薬品分野

日本市場では、一部ジェネリック医薬品メーカーによる品質問題を背景に、出荷調整などが発生しました。また、コロナ禍で病院に出かける人が減少し、薬剤の販売量が減少しています。これらの影響を医薬品添加剤事業が受け、予想対比で業績が未達となりました。

非医薬品分野

前期は食品品質保持剤事業がコロナ禍の影響を大きく受けましたが、当中間期はスーパーやコンビニでのお菓子の販売が好転したことに加え、新規顧客開拓が奏功した結果、業績が予想を上回りました。

『ONE FREUND』のグループ価値観で事業を推進

私は、役員・社員に対し、グループ価値観や経営ビジョンについて継続的に発信してきました。そして、基礎となる一人一人の意識の醸成がかなりできてきたと嬉しく思っています。

例えば、完全顧客視点について、当社のカスタマー事業本部と技術開発研究所が一体となり、お客様の真のニーズを探る動きが定着し、現場の一人一人が意識高く課題解決に取り組んでいます。

グローバル5極体制についても、当社の社員が中心となりプロジェクトを立ち上げ、その構築を推進しています。すでに、フロイント・ベクター、コスメックとともに、グループ連携のための取り組みが始まっています。上海FCセンターについても、当社の中核技術者が中心となり、同センターの社員とともに中国での事業基盤構築を手掛けています。

このように、経営ビジョンやグループ価値観を具現化する社員の自律的な取り組みのもと、持続的成長のための基盤構築を推進してまいります。

自動錠剤コーティング装置 「ハイコーター^{ファイブ}V」がデビュー

当社の歩みは、世界初の自動フィルムコーティング装置「FM-2型」の開発・販売に始まります。半世紀以上を経た2021年9月、第5世代となる自動錠剤コーティング装置「ハイコーター V」を発売しました。

当社の歴史は、コーティング装置の進化の歴史でもあります。職人の手によるコーティング作業が主流の時代、ものづくり現場の苦労を軽減するために開発された第1世代の「FM-2型」(1964年)、お客様の声をもとに第1世代の構造を大きく見直し、作業時間を大幅に削減したことで世界標準になった第2世代の自動糖衣・フィルムコーティング装置「ハイコーター」(1971年)、製薬業界でGMP(医薬品の製造管理及び品質管理の基準)の整備が始まり、有機溶媒系コーティングフィルム液から水系に移行する流れのなかで、大きな乾燥エネルギーを必要とする水系コーティングの生産性を大きく向上させた第3世代の「アクアコーター」(1988年)、フィルム錠の生産性向上と糖衣錠コーティングに対する需要が高まるなか、両者のコーティングの生産性を飛躍的に改善した第4世代の「ハイコーターFZ」(2008年)と、お客様のご要望にお応えすることで、当社は錠剤コーティングの進化を支えてきました。

第5世代となる「ハイコーター V」は、独自の機構・ソフトウェア開発により、コーティング工程の省人化に対応しました。また、従来機以上のスピードと品質の安定性を実現することに加え、装置部品の着脱や交換、洗浄などの作業負担を大幅に低減し、装置の使いやすさの向上を追求するなど、ユニークなイノベーションを創造しました。

当社の開発現場では、50年にわたりお客様から頂いた「声」を最大限反映し、そこに常識にとらわれない発想による新技術を融合することで、性能、省人化、高品質を実現できました。

「ハイコーター V」を省略すると「ハイファイブ」、すなわち「ハイタッチ」を意味します。この装置に関わる多くの方がハイファイブで笑顔になっていただきたいとの想いを込めました。今後ともお客様視点に立ち、たゆまぬイノベーションを実現し、「世界中の人々の医療と健康の未来に貢献」してまいります。

FM-2型 | 1964



ハイコーター | 1971



アクアコーター | 1988



ハイコーターFZ | 2008



ハイコーターV | 2021



半世紀以上を経てコーティング装置は新たな世代へ、「ハイコーターV」が誕生しました。

フロイント産業のwebサイトをリニューアル。 ニューノーマルな時代にフィットしたマーケティングと 『ONE FREUND』の基盤を構築

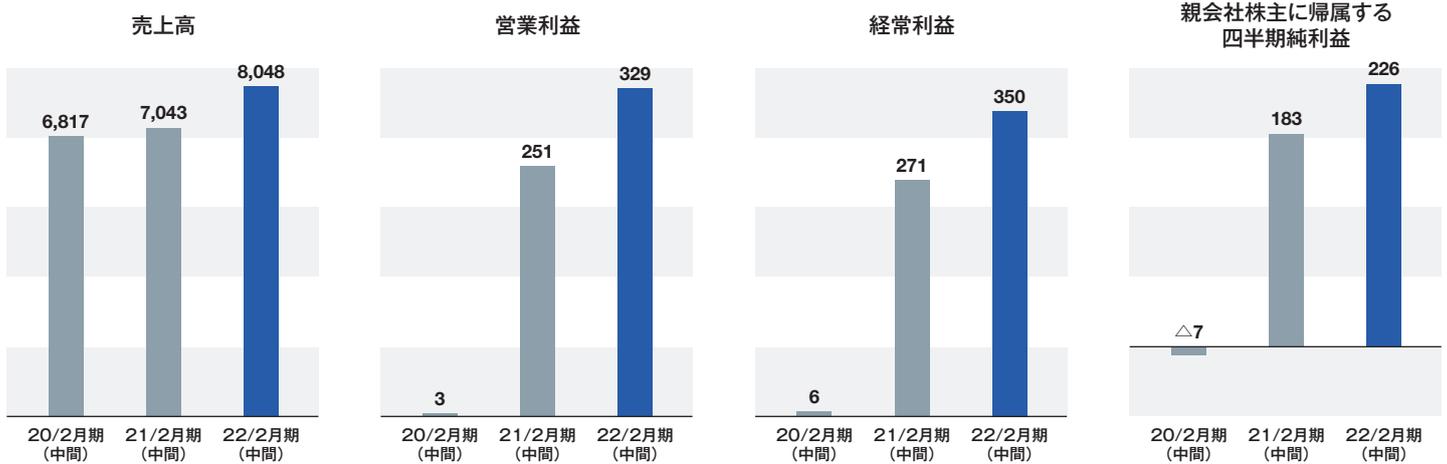
2021年4月、会社情報、製品・技術情報、株主・投資家情報、採用情報など、フロイントグループの最新の情報をステークホルダーの皆様によりわかりやすくお届けするべく、フロイント産業のwebサイトをリニューアルいたしました。また、「FREUND KNOWLEDGE OCEAN」というメディアサイトを構築し、フロイントグループが持つ製品・技術情報をオンラインコンテンツとして発信する取り組みをスタートさせました。

今までにない“コンテンツマーケティング”の取り組みにより、フィールドセールス以外でのお客様へのアプローチの強化(特に新規のお客様)、オンライン上での競合優位性の獲得、お客様情報のさらなる収集を目指すとともに、フロイントグループ全社の情報を発信する『ONE FREUND』推進の場として活用してまいります。

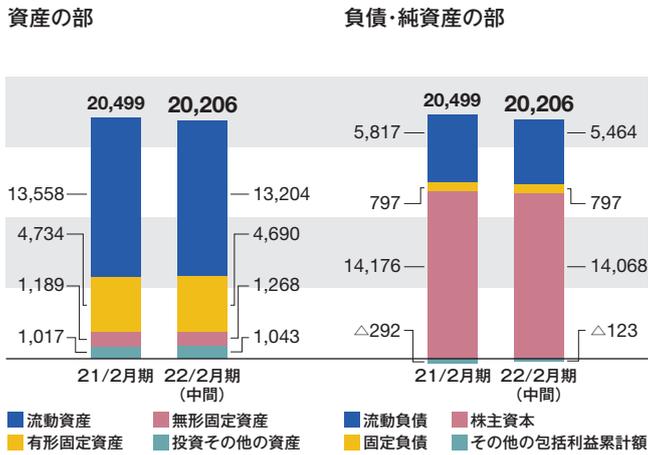
新たなメディアサイト「FREUND KNOWLEDGE OCEAN(フロイントグループ創業からの知識の海)」



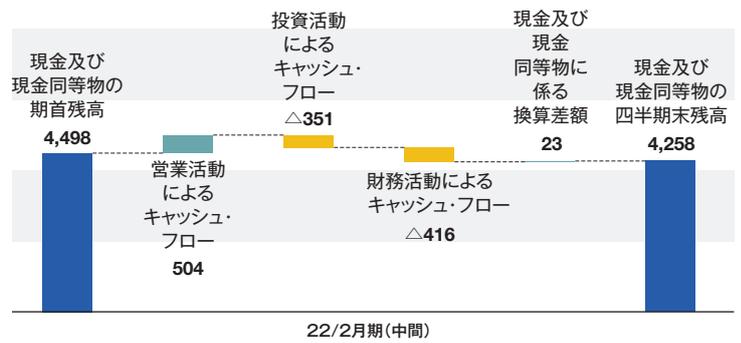
連結損益計算書 (百万円)



連結貸借対照表 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

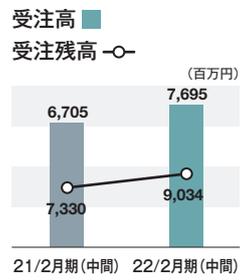
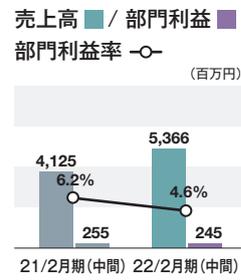
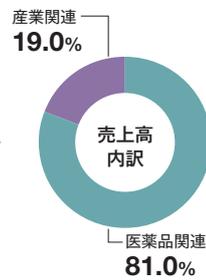


REVIEW OF OPERATIONS 事業概況

医薬品、食品、化粧品などの様々な分野向けに、造粒・コーティング装置などを製造・販売

グループ会社
 フロイント産業株式会社
 フロイント・ターボ株式会社
 FREUND-VECTOR CORPORATION
 Cos.Mec S.r.l.
 Parle Freund Machinery Private Limited

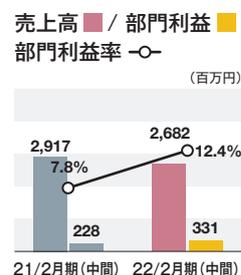
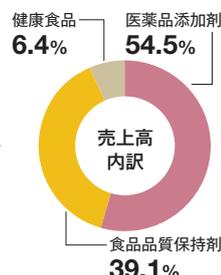
機械部門



医薬品添加剤、食品品質保持剤、健康食品などを製造・販売

グループ会社
 フロイント産業株式会社

化成品部門



化成品部門の受注高・受注残高は販売計画に基づいた見込生産のため、掲載を省略しております。

会社概要

商号	フロイント産業株式会社
英文商号	Freund Corporation
設立	1964年4月22日
資本金	10億3,560万円
事業の概要	医薬品、食品、化学等の業界向け造粒・コーティング装置及びプラントエンジニアリングと医薬品添加剤、食品品質保持剤、健康食品等の開発・製造販売
従業員数	475名(連結)

本社所在地	東京都新宿区西新宿6丁目25-13 フロイントビル
ホームページ	https://www.freund.co.jp
グループ会社	<p>【日本】 フロイント・ターボ株式会社 粉粒体機械装置の研究開発、設計及び製造・販売</p> <p>【アメリカ】 FREUND-VECTOR CORPORATION 粉粒体機械装置の製造・販売</p> <p>【イタリア】 Cos.Mec S.r.l. 医薬品等製造機械装置の製造・販売</p> <p>【インド】 Parle Freund Machinery Private Limited 医薬品等製造機械装置の製造・販売</p>

名誉会長

名誉会長	伏島 靖豊
------	-------

役員

代表取締役社長	伏島 巖
常務取締役	若井 正雄
取締役	本田 稔昭
社外取締役	中竹 竜二
社外取締役	田中 尚
常勤監査役	平野 栄
社外監査役	泉本 小夜子
社外監査役	濱田 和成

STOCK INFORMATION 株式情報 (2021年8月31日現在)

株式の状況

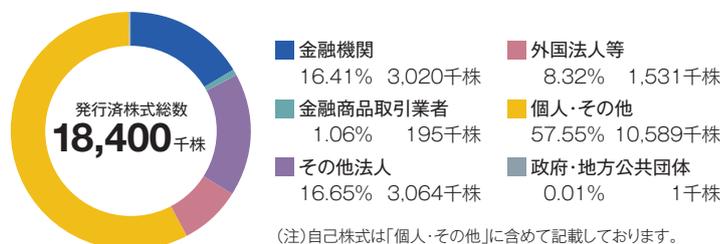
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	18,400,000株
株主総数	15,917名

大株主の状況

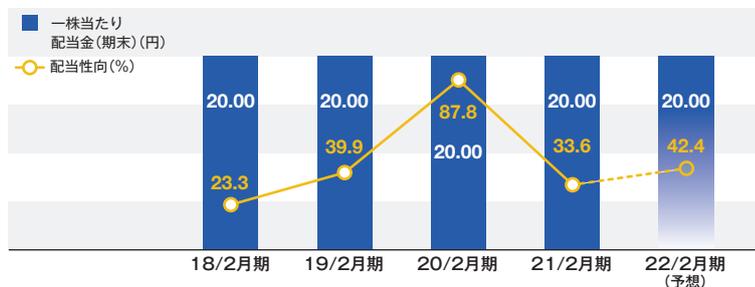
	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)伏島揺光社	1,648	9.84
伏島靖豊	1,256	7.50
(株)三菱UFJ銀行	836	4.99
(株)三井住友銀行	744	4.44
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	688	4.11
(株)大川原製作所	673	4.02
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	495	2.96
フロイント従業員持株会	403	2.41
(株)静岡銀行	368	2.20
明治安田生命保険相互会社	360	2.15

自己株式1,655千株(9.00%)を保有しております。
持株比率は自己株式1,655千株を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



配当金・配当性向の推移



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
株主確定日	定時株主総会・期末配当金 2月末日 (中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日)
株主名簿管理人 同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町一丁目1番地 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL (https://www.freund.co.jp) ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

フロイント産業株式会社

この株主通信に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

○経営企画本部 経営企画部 03(6890)0767 ○URL https://www.freund.co.jp

